

『アルプラクラス』・『アリッツ』 スチール電動Eタイプ シャッター 電気工事説明書

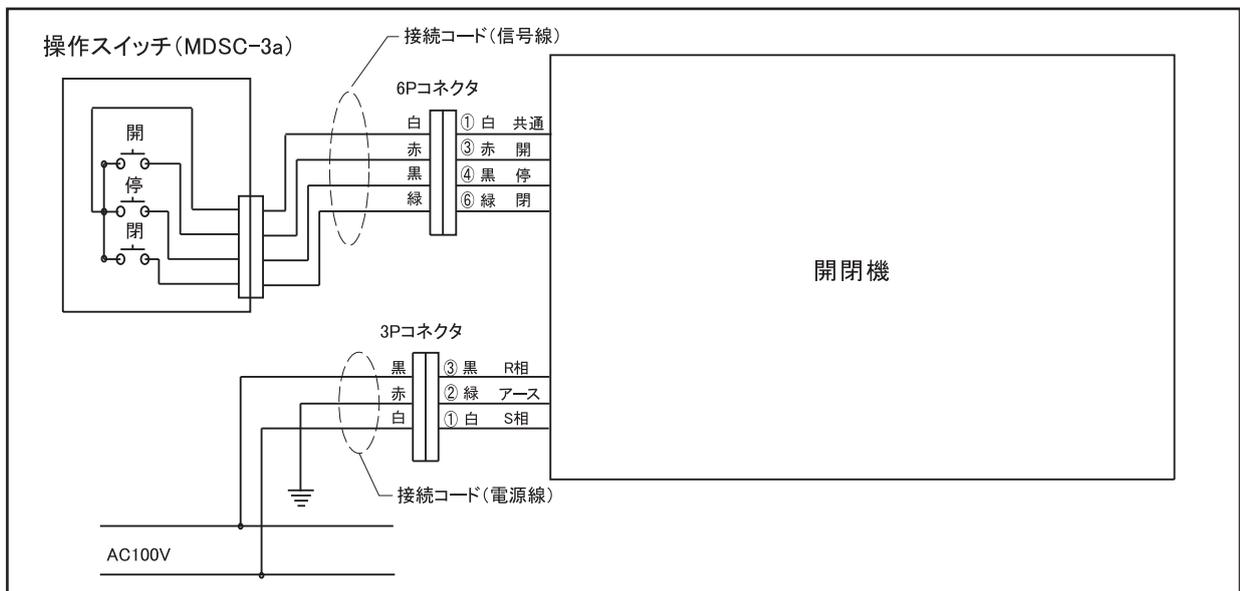
<シャッター本体取付け業者様用・電気工事業者様用>

⚠️ 安全にお使いいただくために

●本説明書では、お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防ぐため、次のような絵表示をしています。

お願い 「必ず行っていただくこと」を示しています。

1 結線図



- 注) 1. 操作スイッチの取付けにはスイッチプレート・スイッチボックス等が必要です。
スイッチプレートはシャッター本体梱包に操作スイッチとともに同梱されておりますが、スイッチボックスは、市販の1個用深型タイプを別途ご用意ください。(浅型は使用できません)
2. 本商品の電源はAC100Vです。AC100V以外の電源は使用しないでください。
3. 電源線以外のコード及びコネクタにAC100Vを接続しないでください。誤ってAC100Vを接続すると一瞬のうちに機器が破壊します。

2 電気工事

- AC100V 50/60Hz以外の電源は使用できません。
 - 1次配線・操作スイッチ等の取付けは、内装工事前に電気工事店に依頼してください。
 - 同梱の操作スイッチは、1台のシャッターに1個接続してください。
 - 操作スイッチ用スイッチボックスは現場手配です。
- ※タイマーコントローラーを取付ける場合は、2個用深型タイプのスイッチボックスを別途手配してください。

■電装部品仕様

①開閉機

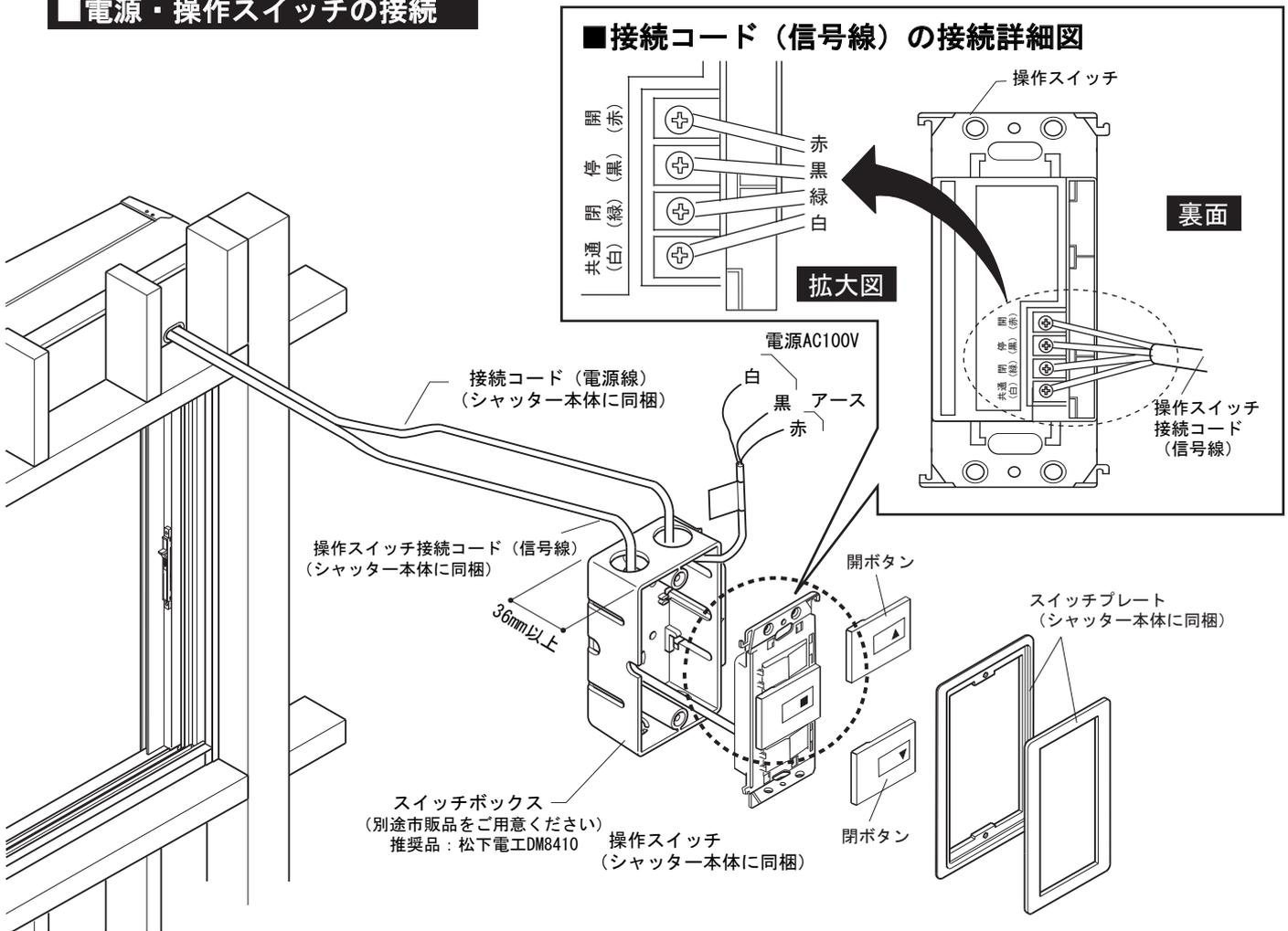
機種	SY-4S
電源	AC100V 50/60Hz
定速運転最大トルク	3.4N・m
定格電流	0.42A
回転数	26.4rpm
時間定格	10分

②操作スイッチ

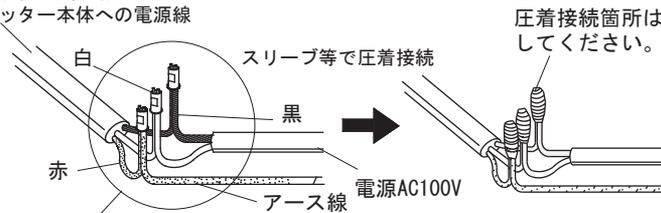
MDSC-3a

3 結 線

■電源・操作スイッチの接続



電源線の接続方法 シャッター本体への電源線



圧着接続箇所は必ず絶縁テープ等で保護してください。

※AC100V以外の電源を使用しないでください。
 ※タイマーコントローラーを取付ける際は、タイマーコントローラーを取付けるスイッチボックス内にAC100V電源線が必要です。

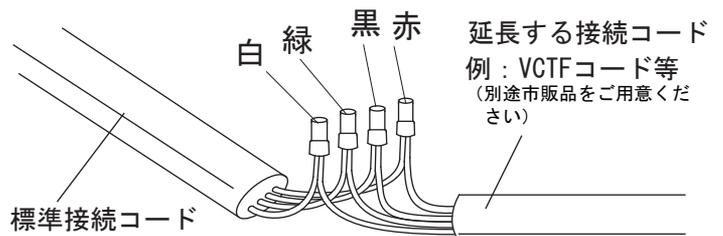
電源線の接続箇所はスイッチボックスの中に入れ込むかジョイントボックス等を設けてください。

■接続コード（信号線）の延長方法と注意

接続コード（信号線）は標準で5mの長さですが、操作スイッチまでの長さが5mを超える場合、以下の方法で延長してください。

■接続コード（信号線）と延長するコードのつなぎ方

- 右図のように圧着端子などを用いて確実につないでください。
- また、接続箇所にはジョイントボックス等を設けてください。
- 延長する接続コードは線径φ0.6~0.8以上で、被覆の強いコードを使用してください。
- (被覆の弱いコードは施工時に破損しやすい為使用しないでください)



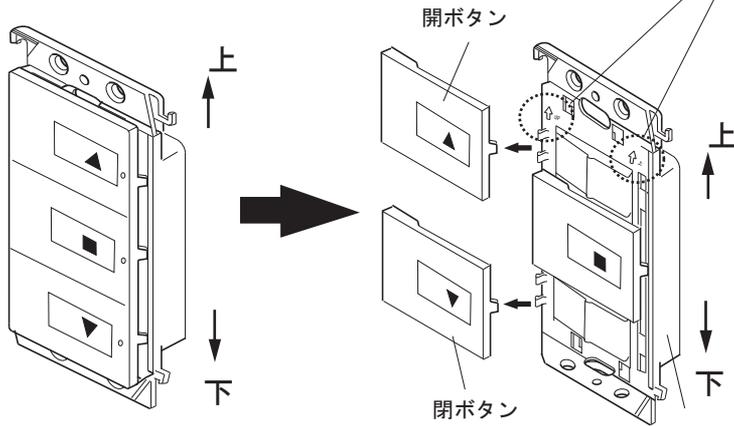
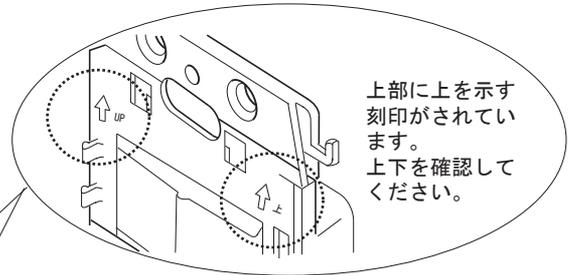
お願い シャッターの動作が不安定になる為、接続コードの総長さを10m以内にしてください。

■操作スイッチ取付時の注意

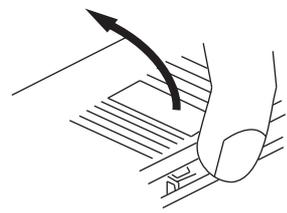
- ・操作スイッチをスイッチボックスへ取付ける時は、
 開ボタンと  閉ボタンを一旦外してから
 取付けてください。

(上下の向きがありますのでご注意ください。)

- ・取付けた後に  開ボタンと  閉ボタンを
 下図の取付け方の手順で操作スイッチに再度、取
 付けてください。



- 開ボタン・閉ボタンのはずし方
 ボタンの操作側（右側面）に
 指をかけてはずしてください。

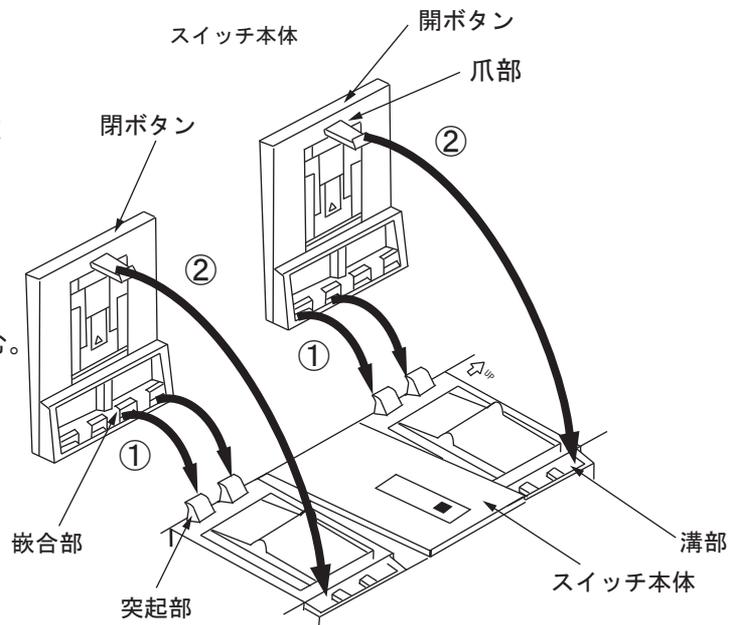


●開ボタン・閉ボタンの取付け方

※操作スイッチをスイッチボックスに固定
 終了後行ってください。

- ①開ボタン・閉ボタンの嵌合部にスイッチ
 本体の突起部を嵌合する。
- ②開ボタン・閉ボタンを回転させ、ハンド
 ルの爪部をスイッチ本体の溝部へ押し込む。

※▲・■・▼を確認の上、開・停・閉の
 各ボタンを正しい位置に取付けてくだ
 さい。



操作方法及び設定方法

■操作の前に

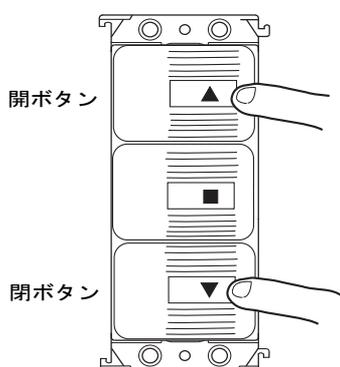
- 開閉方向や、周囲の安全を確認した後、操作してください。
- スイッチを先の尖ったもので押さないでください。
- 障害物検知装置が働いてシャッターが停止したときは、速やかに操作を中止してシャッターを点検してください。

1 シャッターの初期設定（サイズ設定及び上・下限の設定方法）

シャッターを取付け、仮設電源等で通電した後にシャッターの初期設定をしてください。
シャッターの初期設定は、サイズ設定 → 上限の設定 → 下限の設定 の順で行います。
また、設定のリセットをした場合も同じ手順でシャッターの初期設定を行ってください。

■サイズ設定

シャッターの初期状態は、サッシW：1500以上のサイズ設定になっています。
サッシW：1500未満の場合に、以下の操作でサイズ設定をしてください。



左図の様に、開ボタンと閉ボタンを同時に押してください。
開閉機（モーター）部から「ピッ」という音が鳴ります。

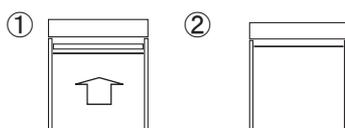
※もし「ピピッ」という音が鳴ったらもう一度、開ボタンと閉ボタンを同時に押して「ピッ」という音を確認してください。
（このボタン操作を繰り返した場合は、「ピッ」という音と「ピピッ」という音が繰り返されます）

サイズ設定の確認は、開ボタンと閉ボタンを同時に押した時に開閉機（モーター）部から出る音で識別します

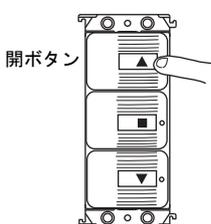
サッシW：1500未満	サッシW：1500以上
「ピッ」	「ピピッ」

■上限の設定

- ① ▲ 開ボタンを長押し（2秒以上）すると、シャッターが上昇を開始します。
- ② ストッパーが上枠に当たり、モーターに負荷がかかると、開閉機（モーター）部で「ピピッ」と音が鳴り、自動的に上限が設定されます。

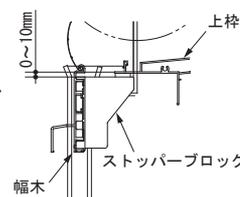


●操作スイッチ



【上限設定位置】

上枠にストッパーブロックを当てて停止させることにより、上限が設定されます。上・下限設定後は上昇させると、右図の位置となります。

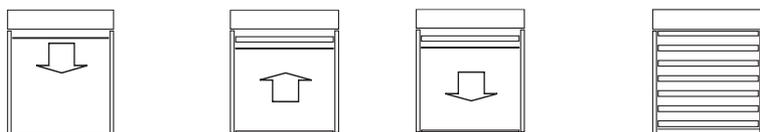


※設定が上手く出来なかった場合や再設定を行う場合は、「設定のリセット方法」の手順で設定のリセットを行ってからやり直してください。

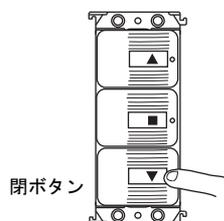
■下限の設定

- ① 上限を設定した後、操作スイッチの ▼ 閉ボタンを長押し（2秒以上）すると下限設定動作が開始されます。これ以後は、自動設定となりますので手順動作を確認してください。
- ② 下限設定動作が開始した後、シャッターは上限付近で上・下動作を行います。この動作はサイズによって0回～最大8回まで繰り返します。
- ③ その後、シャッターが下降を開始し全閉状態で停止して、開閉機（モーター）部から「ピピピピピピ」という音が鳴り、下限設定を完了します。

- ① 閉ボタン長押し後、シャッターの自動設定開始
- ② 上・下動作の繰り返し後、下降（上・下動作は0～最大8回まで繰り返し）
- ③ 下限位置で停止設定終了

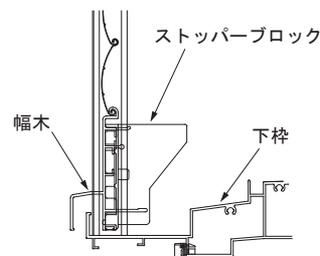


●操作スイッチ



【下限設定位置】

※幅木が下枠に接触すると自動で停止します。

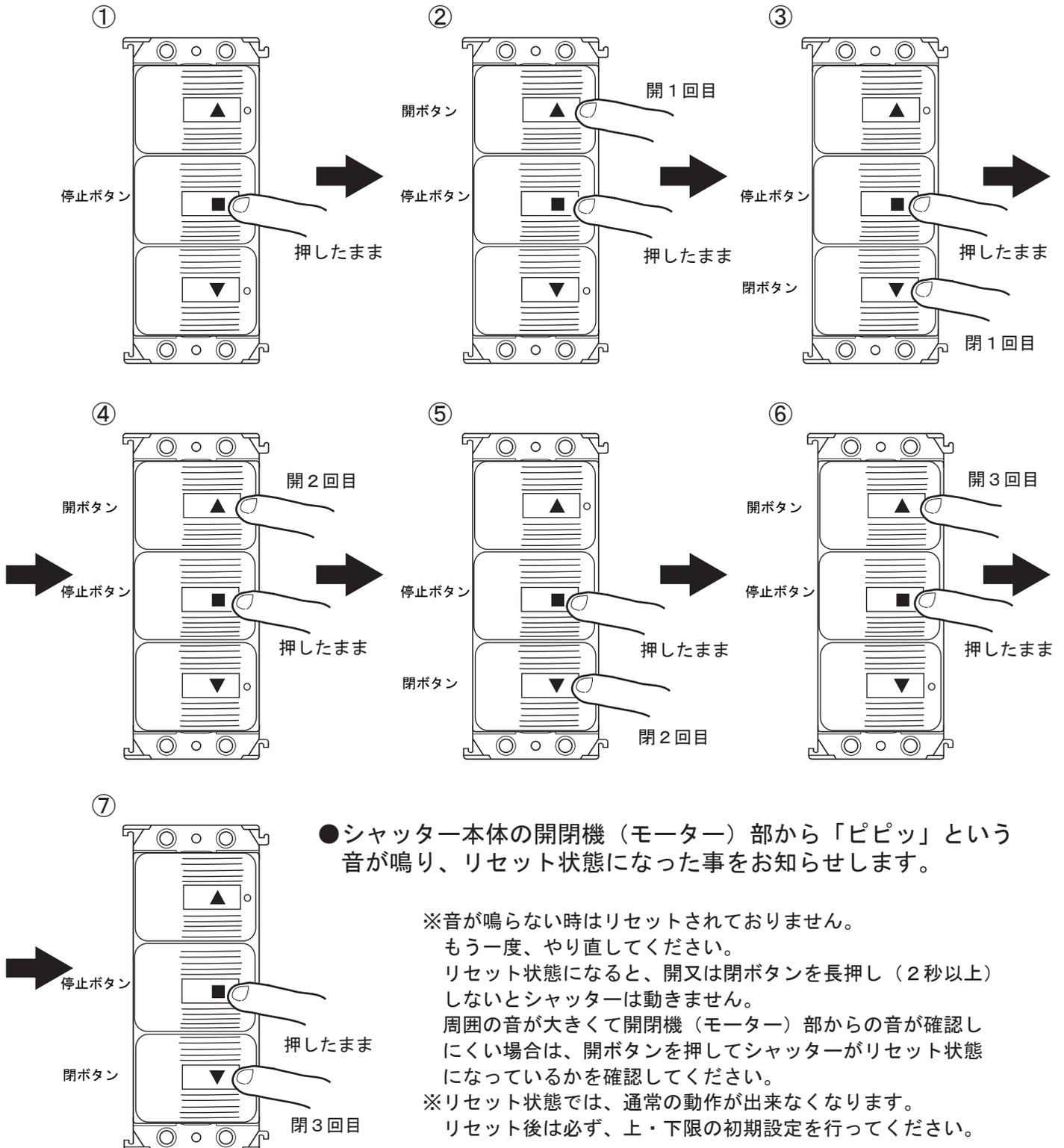


※設定が上手く出来なかった場合や再設定を行う場合は、「設定のリセット方法」の手順で設定のリセットを行ってからやり直してください。

2 設定のリセット方法

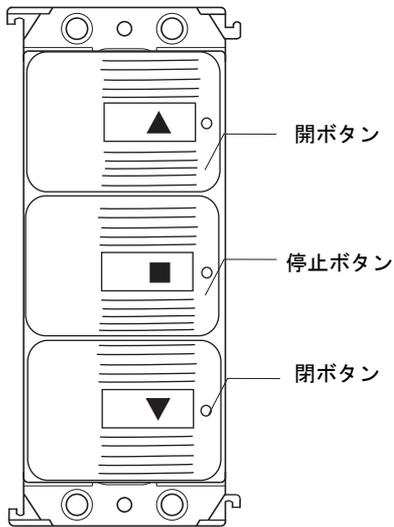
■ 停止ボタンを押したまま、▲ 開ボタンと ▼ 閉ボタンをゆっくりと交互に3回ずつ押ししてください。(開→閉→開→閉→開→閉の順です)

リセット状態になると開閉機（モーター）部から「ピピッ」という音が鳴ります。



3 操作スイッチ

●操作スイッチ

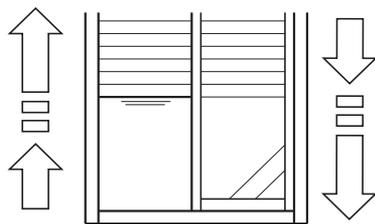


- ①障害物の有無を確認してから操作してください。
- ②操作スイッチによる動作を下表に示します。

作動状況	操作方法
開ける時	操作スイッチ ▲ 開ボタンを押してください。
止める時	操作スイッチ ■ 停止ボタンを押してください。
閉める時	操作スイッチ ▼ 閉ボタンを押してください。
障害物検知装置が働いた時	シャッター下降中に幅木が障害物に接触し、負荷がかかるとシャッターは4秒間反転上昇し、停止します。開閉機（モーター）部から「ピーピーピーピー」と音が鳴ります。

※障害物を取除いた後、正常に開閉作動するか確認してください。

●開閉時のシャッターの動きについて



- 本商品は、電動モーターの出力とシャッター質量とが、巻取り軸に取付けのスプリング力でバランスを取りながら開閉する構造となっております。特性上、開閉途中で引っ掛かるような動きをする場合もありますが、異常ではありません。（品質上問題ありません。安心してお使いください。）

タイマーユニット（別売品）について

お願い

下記事項を守らないとシャッターの作動不良の原因になります。

- タイマーユニットは室内使用専用ですが、浴室などの水蒸気、湯気などが入り込むような場所での使用はできません。
- タイマーユニットのみでシャッターの操作は出来ません。必ず操作スイッチと併用してください。
- タイマーコントローラーと操作スイッチを接続してから、電源ケーブルにAC100Vを入れてください。順番を間違えるとタイマーコントローラー・操作スイッチ等が破損するおそれがあります。
- タイマーコントローラーの「動作確認」は、シャッターの上・下限の設定が終了してから行ってください。
- コネクタを無理に押し込んだり、引っ張ったりしないでください。

1 シャッター用タイマーユニット 部品一覧表

セット名称	名称	記号
タイマーユニット ABOXTCP	タイマーコントローラー	EW-1205
	3a接点用接続コード	EW-1190
	スイッチプレート(2連用)	WTC7102W(市販品)
	取付説明書・取扱説明書……………各1枚	

タイマーコントローラーの取付時に、別途現地手配で深型2個用スイッチボックス(松下電工DM8420相当)が必要です。

※シャッター1台(壁スイッチ1個)にタイマーコントローラー1個の接続です。1つのタイマーコントローラーで複数のシャッター動作は出来ません。

※操作スイッチの種別を確認した上で、付属の3a接点用接続コードを使用し操作スイッチと下図の要領で接続してください。

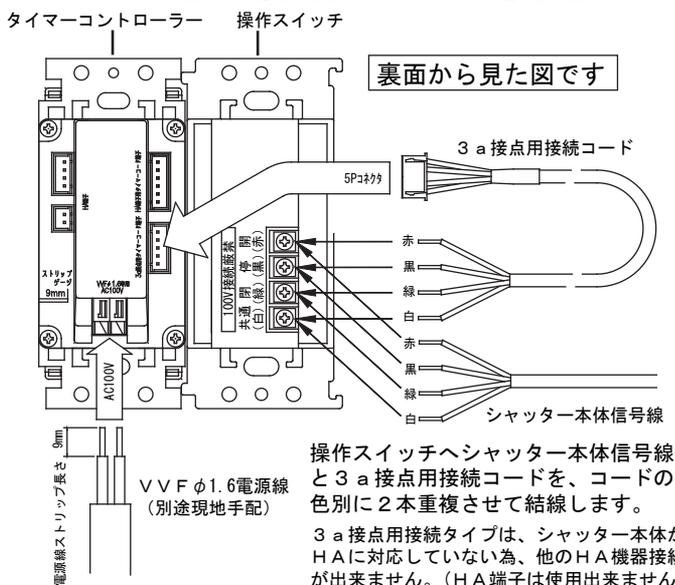
※このタイマーコントローラーにはHAアダプタの機能はありません。

※スイッチプレートは「松下電工社製」コスシリーズ/ワイド21(2連用)を使用します。

2 結線

- 結線方法は、下図の接続位置に付属の接続コードで操作スイッチとタイマーコントローラーを結線した後に、タイマーコントローラーへAC100V電源線を接続してください。接続方法は3a接点用接続コードを使用し、正しい接続方法で結線してください。

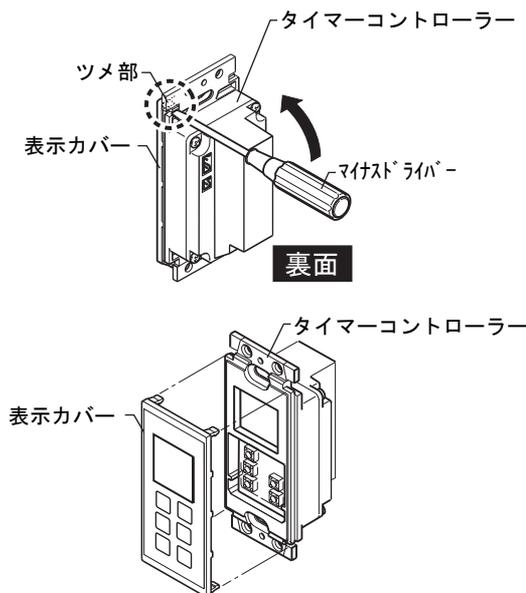
3a接点用接続コードによる接続



3 取付

- タイマーコントローラーの取付け時は、下図の様にマイナスドライバーでツメ部を起こして表示カバーを外してからスイッチボックスへ固定してください。シャッター側操作スイッチとタイマーコントローラー取付け後に、スイッチプレートを取付けてください。

※表示カバーを外す際に、無理に引っ張るとツメ部が折れる場合がありますのでご注意ください。



※リモコンを追加する場合は、リモコン送信機「ABOXTC」を別途手配ください。

4 タイマーコントローラーの時刻設定と操作方法について

■現在時刻およびタイマー開時刻、タイマー閉時刻の設定方法

- ①「設定」ボタンを1回押すと現在時刻表示が点滅し、現在時刻の設定（修正）が可能な状態になります。
- ②「送り」ボタンまたは「戻り」ボタンを押して、現在時刻の設定（修正）をします。設定（修正）をしない場合は、「送り」ボタン、「戻り」ボタンを押さずに③に進んでください。
- ③「設定」ボタンを1回押すと現在時刻表示が点滅から点灯に変わり、現在時刻の設定（修正）が完了します。また、同時にタイマー開時刻表示が点滅し、タイマー開時刻の設定（修正）が可能な状態になります。
- ④タイマー開時刻表示が点滅している状態で、「送り」ボタンまたは「戻り」ボタンを押してタイマー開時刻の設定（修正）をします。設定（修正）をしない場合は、「送り」ボタン、「戻り」ボタンを押さずに⑤に進んでください。
- ⑤「設定」ボタンを1回押すと、タイマー開時刻表示が点滅から点灯に変わり、タイマー開時刻設定（修正）が完了します。また、同時にタイマー閉時刻表示が点滅し、タイマー閉時刻の設定（修正）が可能な状態になります。
- ⑥タイマー閉時刻表示が点滅している状態で「送り」ボタンまたは「戻り」ボタンを押して、タイマー閉時刻の設定（修正）をします。設定（修正）をしない場合は、「送り」ボタン、「戻り」ボタンを押さずに⑦に進んでください。
- ⑦「設定」ボタンを1回押すとタイマー閉時刻設定（修正）が完了し、全ての設定が完了となります。

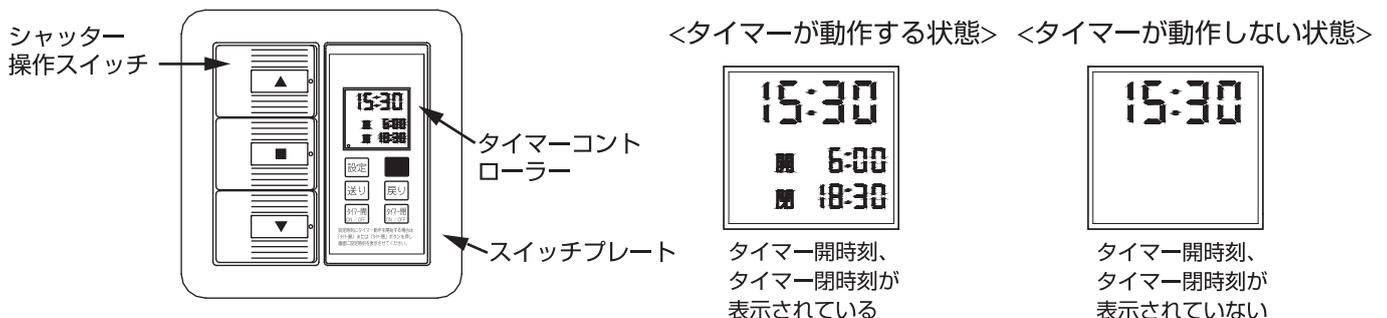


- ※「設定」ボタンを1回押す毎に、現在時刻設定⇒タイマー開時刻設定⇒タイマー閉時刻設定⇒通常状態を繰り返します。各時刻設定状態では、「送り」ボタン「戻り」ボタンを押した場合のみ設定時刻が変わります。誤って「設定」ボタンを押した場合は各時刻表示が通常状態（表示点灯状態）に戻るまで「設定」ボタンのみを押して復帰させてください。
- ※各時刻の設定時の「送り」ボタンまたは「戻り」ボタン操作で、ボタンを押し続けた状態にすると高速で表示時刻が送り又は戻り状態となります。1分単位で微調整する場合は、ボタン操作を1回づつ押してください。
- ※各時刻の設定状態（表示点滅状態）で10秒以上ボタン操作が無い場合は、通常状態（表示点灯状態）に戻ります。その場合は、設定状態（表示点滅状態）で画面表示されていた時刻がそのまま記憶されます。

■タイマーコントローラーの操作方法

- ①現在時刻およびタイマー開時刻、タイマー閉時刻設定方法の要領で、タイマー開時刻とタイマー閉時刻をセットします。
- ②「タイマー開」ボタンを押し、画面にタイマー開時刻が表示されていることを確認します。タイマー開時刻が画面に表示されている場合に設定されたタイマー開時刻にシャッターは開動作します。
- ③「タイマー閉」ボタンを押し、画面にタイマー閉時刻が表示されていることを確認します。タイマー閉時刻が画面に表示されている場合に設定されたタイマー閉時刻にシャッターは閉動作します。

- ※タイマーによるシャッター動作を行わない場合は、「タイマー開」または「タイマー閉」ボタンを押して、画面にタイマー開時刻またはタイマー閉時刻の表示が出ていない状態にしてください。
- ※半開状態はタイマー開時刻には開、タイマー閉時刻には閉動作します。
- ※非常開放レバー操作後、停電（電源遮断）後の電源復旧（通電）時に、シャッター操作スイッチの開ボタンを押してシャッターを全開にしてください。この操作をしないと、タイマーによる正常なシャッター動作ができません。



新日軽 株式会社 LIXIL

トステム・INAX・新日軽・サンウエーブ・東洋エクステリアは、2011年4月1日より、株式会社LIXILとしてお客様の多様なニーズに対応した商品とサービスを提供してまいります。

会社や商品についての情報のご確認は、下記ホームページまで
<http://www.lixil.co.jp/>